

常葉大学・短期大学部 シラバス入力上の注意

授業コード						
担当教員						
授業科目名						
単位数		配当年次		開講年度学期		曜日時限

※必須 授業の概要 [1400文字]	
※必須 授業の目的 [2000文字]	
※必須 授業の到達目標 [2000文字]	<p>※授業終了段階で学生にできるようになって欲しい事柄を記載してください。 記載例： ・○○について、説明できる。 ・○○の理論を述べることができる。 ・○○の演習問題が解ける。</p>
※必須 卒業認定・学位授与の方針との関連性 [1600文字]	<p>各学科等のナンバリングの「◎、○、△」を確認 ◎=大いに該当する ○=該当する △=一部該当する</p> <p>[大学例] 定められたDPに従って記載する。 例◎ DP1：知識・理解、DP3：関心・意欲に該当する 例◎ DP1：知識・理解、DP5：技能・表現に大いに該当する。DP4：態度に該当する。</p> <p>[短期大学部例] 教養教育科目 ※対象学科のDPをすべて記載する。 例◎ 日本語日本文学科、保育科、音楽科対象に開講する場合 日本語日本文学科 DP1：自主独立、DP3：判断・協働・企画に該当する 保育科 DP4：知性・教養・貢献に該当する 音楽科 DP4：思考・判断に該当する</p> <p>専門教育科目 ※各学科のDPに従って記載する。</p>
※必須 授業の計画と内容 [6000文字]	<p>全授業回数分の授業内容を、定期試験とは別に記載してください。</p> <p>[例示] *オムニバス科目の場合 第1回 物理学とはどのような学問か * (教員A) 第2回 古典力学(1) 物体の運動の記述 * (教員B) 第3回 古典力学(2) 力とその性質 * (教員A) : 第15回 現代物理学の描く世界像 * (教員A) 定期試験(筆記試験)</p> <p>※教員免許科目は具体的に記載してください。 (記載例第2回の場合、「物体の運動の記述」まで記載してください。)</p> <p>✓オムニバス開講の場合は、各教員の担当回をカッコ書きで明記 ✓オンライン授業の場合は、「授業の計画と内容」の一番上に、該当回と実施形態を記載してください。</p> <p>【すべてオンライン授業の場合】 例：この授業はすべてオンライン授業で行う(オンデマンド：資料配信型) 【半数以上オンライン授業の場合】 例：この授業は第1回と第15回を対面授業、第2回～第14回をオンライン授業で行う(オンデマンド：教科書中心型) 【半数未満オンライン授業の場合】 例：この授業は第3、6回をオンライン授業(オンデマンド：資料配信型) 第1、2、4、5、7～15回を対面授業で行う</p> <p>✓各回の学びのテーマ、内容、キーワード等を明確に記載 ✓到達目標等と整合する授業内容を設定 ✓「含むべき事項」の授業計画上の位置づけを明示 ✓複数回に渡って同様のテーマを扱う場合、数字のみで区別するのは不可 (各回の副題を付けるなど、授業のねらいを明確にし、各回の内容の差別化を図る) ※外部講師を招聘する場合および学外で授業を行う場合は、必ずシラバスに記載してください。 ※外部講師の招聘は、一人の専任教員につき、年間2回までとし、担当する回に外部講師名を記載してください。 ※非常勤講師の先生方は、外部講師の招聘はできません。</p>

実験・実技など2コマ連続授業の場合も、1コマずつの記載をお願いいたします。

例① 第1回 ○○○○ ▲▲▲▲
第2回 同上 ■■■■

例② 第1回 ○○○○ (1) ▲▲▲▲
第2回 ○○○○ (2) △△△△

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
				例：出版年:2018 金額(参考):2,200円
参考書				
書名				

シラバス作成期間中に登録されたISBNデータを、業者に送信し発注します。

- ・誤入力の場合は、正しく発注されませんので、正確に入力してください。
- ・絶版の教科書を記載しないでください。
- ・第1回目の授業では、教科書の購入を完了していない学生がいる場合があります。
- ・備考欄には出版年度と参考金額を記載してください。
- ・複数指定は学生の購入負担を考慮してください。

以上のことを、あらかじめご承知おきください。

発注ミス防止のため、正確に記載してください。
(13桁ハイフンなし)

出版年と金額(参考)を記載してください。

<p>※必須 成績評価の方法 [1000文字]</p>	<p>※合計が100%になるよう、具体的に記入してください。 記載例：筆記試験50%、レポート課題（3回）30%、受講態度20% 毎回の小テスト50%、期末レポート50%</p>
<p>※必須 成績評価の基準 [1000文字]</p>	<p>※「授業の到達目標、卒業認定・学位授与の方針との関連性」等が基準になります。 記載例：到達目標の達成度を評価基準とする。 DP1に関連し、授業で出てきたキーワードを例を挙げながら説明できる。</p>
<p>※必須 フィードバックの方法 [1000文字]</p>	<p>※レポート提出や試験等を行う場合は、必ず入力してください。 記載例：試験終了後、模範答案を配布する。 試験採点后、試験答案を返却する。 試験後、模範演技(演奏)を見せる(聴かせる)。 試験後、模範演技(演奏)について説明する。</p>
<p>※必須 授業時間外学修 [1000文字]</p>	<p>※準備学習、予習、復習などの自己学習の方法について具体的に時間の目安を記載してください。 (別掲「【大学】令和8年度授業時間外学修の記入について」参照) 記載例：授業で扱うテーマについて、下調べしておくこと(予習：○時間程度) 授業後に学習事項と要点、考察をまとめること(復習：○時間程度)</p>
<p>実務経験のある教員の 授業内容 [1000文字]</p>	<p>[例示] ・小学校教員の経験を有する教員が、生活科の授業設計を行う方法について解説する。 ・〇〇銀行での経験を有する教員が、金融の側面から日本経済の現状等について解説し、経営学についての理解が深められるような授業を展開する。</p>
<p>その他 [1000文字]</p>	<p><必須項目ではありませんが、授業の性質上、履修条件、受講のルール、学修上の助言、メッセージなどを記載してください。> 例：「△△△△」(講義名)を履修済であること。 ※他の科目の履修等を条件とする場合は、必ず学科長と条件を確認した上で記載してください。 ※学外授業等で、入場料等がかかるなど、費用がかかる場合は、その旨を記載してください。 ※シラバス情報は一般公開されます。非公開のメールアドレス等、学外公開されると支障のある情報は掲載しないようご注意ください。</p>